

あ げ お 議会 だより

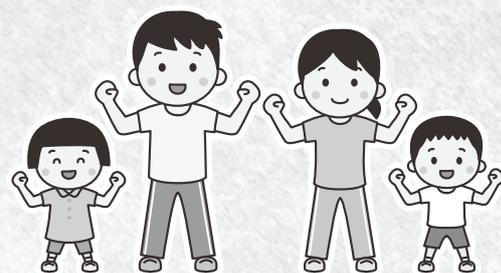
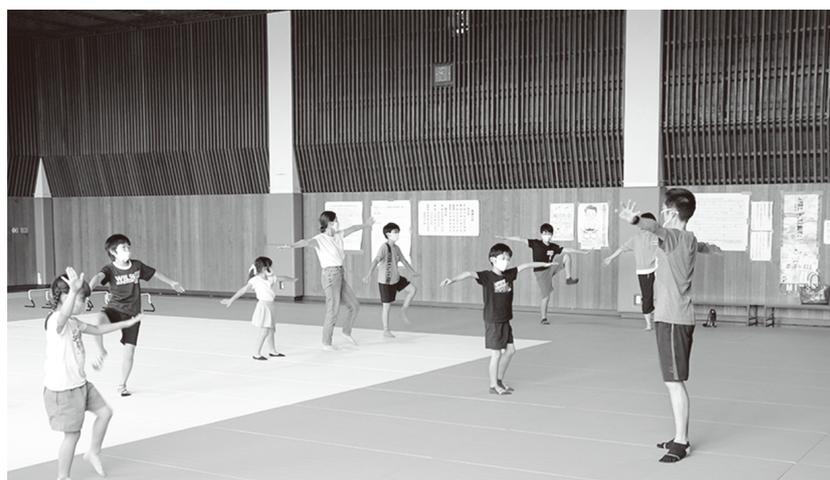
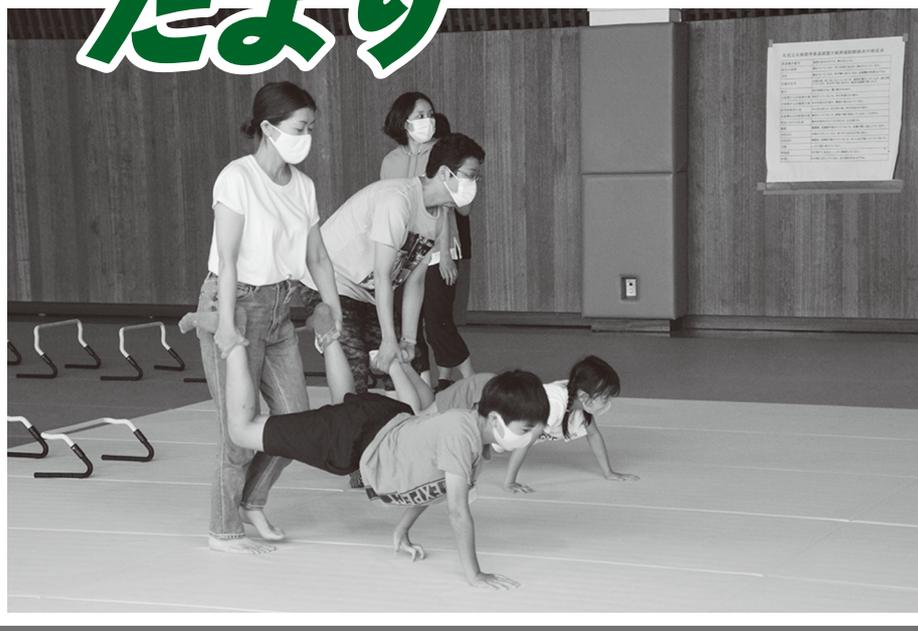
あなただけの
あなただけの



上尾市

主な内容

| | |
|--------------|---------|
| 審議された主な議案 | 2ページ |
| 委員会審査、討論 | 3～4ページ |
| 全員協議会 | 5ページ |
| 提出議案・請願とその結果 | 6ページ |
| 市政に対する一般質問 | 7～15ページ |
| 委員会活動 | 16ページ |



親子で楽しく運動教室

市民体育館で、親子運動教室が開催され、小学生とその保護者が健康運動指導士や箱根駅伝経験者から運動の基礎を学びました。準備運動から始まり、道具を使ったレクリエーションや、運動後のストレッチなどをしながら、身体の動かし方のアドバイスやプロの練習の仕方などについても話を聞くことができました。親子で元気いっぱい、身体を動かして、とても楽しい時間となりました。(感染予防に配慮しながら、実施しています。)

第199号

令和3年(2021)
8月号

発行 / 上尾市議会
編集 / 議会報編集委員会
〒362-8501
埼玉県上尾市本町 3-1-1
電話 048-775-9467

Pick Up

令和3年6月定例会 審議された主な議案

6月定例会で審議した議案は、市長提出議案（追加提出議案および閉会中の継続審査とされた議案を含む）17件および諮問2件、議員提出議案6件の計25件で、このうち22件を原案のとおり可決・同意・承認・異議なき旨答申し、3件を否決しました。

議案第58号 令和3年度上尾市一般会計補正予算（第3号）歳入歳出補正額 8306万6000円

議案第73号 令和3年度上尾市一般会計補正予算（第4号）歳入歳出補正額 1億3350万円

長期化する新型コロナウイルス感染症への対策強化のための補正予算案を可決

主な事業

○市内公共施設などのトイレの非接触化改修工事（3797万7000円）

▶不特定多数の市民が利用する市役所庁舎、図書館、公民館、市民体育館などの公共施設のトイレについて、手洗器の自動水栓化および照明の人感センサー化に係る改修工事を実施するもの。

○子ども食堂の応援（450万円）

▶子ども食堂の運営を支援するため、食材費や会場使用料などに対する補助を実施するもの。

○就労継続支援B型事業所への工賃維持支援（620万円）

▶昨年度に引き続き、各就労継続支援B型事業所が利用者の工賃維持のために持ち出した自主財源の額に応じて、当該事業所を支援するもの。

○妊婦へのタクシー利用料金を助成（734万6000円）

▶通院における感染リスクを低減し、健やかな出産への寄与を目的として、昨年度に引き続き、妊婦1人につき1万円分のタクシー券を支給するもの。

○新型コロナウイルス関連情報の発信（1912万7000円）

▶J R上尾駅や市役所などの公共施設にデジタルサイネージ（電子掲示板）を設置し、広く、早く市民に新型コロナウイルス関連の情報を周知するもの。

○新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金の支給（1億3350万円）

▶新型コロナウイルス感染症の長期化の影響を受け、緊急小口資金・総合支援資金の特別貸付について、貸付限度額に達している世帯などのうち、一定の条件を満たした生活困窮者に対して、「新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金」を支給するもの。

| | | 6月定例会の動き | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------------------------|-------------------|------------------|----------------|----------------|-------|---------------------|-------|------|-------------------|---|-------------|-----|-------|-----|-------|-----|-------|
| 委員会 | 6月8日 | 委員会 | 6月11日 | 委員会 | 6月14日 | 委員会 | 6月15日 | 委員会 | 6月17・18日 | 委員会 | 6月21日 | 委員会 | 6月22日 | 委員会 | 6月23日 | 委員会 | 6月28日 |
| 基本計画調査特別委員会 正副委員長の互選 | 開会、市長提出議案の上程および説明 | 提出議案に対する質疑、委員会付託 | 総務・都市整備消防常任委員会 | 文教経済・健康福祉常任委員会 | 一般質問 | 一般質問、追加提出議案の上程および説明 | 一般質問 | 一般質問 | 一般質問、追加提出議案に対する質疑 | 委員長報告、討論、採決、特別委員会の設置、議員提出議案の上程、討論、採決、閉会 | 上尾市学校施設更新計画 | | | | | | |

※その他の議案や議決結果については、6ページ「令和3年第2回臨時会および令和3年6月定例会提出議案・請願とその結果」をご参照ください。

委員会審査から

総務、都市整備消防、文教経済、健康福祉の各常任委員会は、付託された議案などを審査しました。以下、審査の過程で出された主な質疑についてお知らせします。

健康福祉常任委員会

契約締結 (仮) 子ども・子育て支援複合施設の建設

〈又モ〉 (仮) 子ども・子育て支援複合施設建設工事に関する工事請負契約を締結するもの。

委員 コロナ禍での設計変更はあったか。

答 コロナ対策については十分検討したところである。具体的には、玄関の手洗い場の設置やサーマルカメラの設置などである。

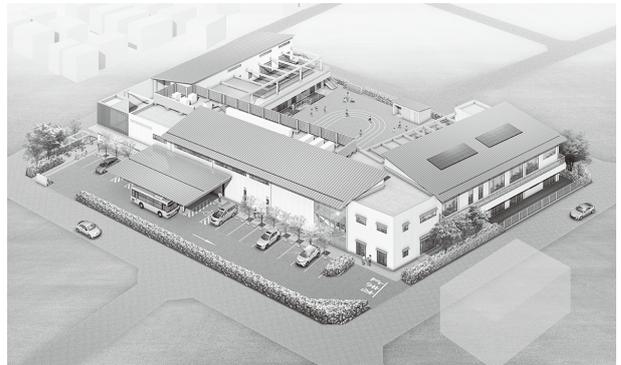
委員 ゼロカーボンシティ宣言に向けて、太陽光発電などの発電装置の設置予定はあるか。

答 発電支援相談センター側の屋上に太陽光パネルの設置を考えている。

委員 電力量はどの程度か。

答 30キロワットである。ただし、発電量については、天候により変

化するものである。



▲(仮) 子ども・子育て支援複合施設の完成予想図

総務常任委員会

補正予算 市内公共施設などのトイレの非接触化

〈又モ〉 新型コロナウイルス感染症への対策として、不特定多数の市民が利用する公共施設などのトイレについて、手洗器の自動水栓化および照明の人のセンサー化の改修工事を実施するもの。

委員 全公共施設のうち、非接触化となる割合は。

答 割合は表していないが、各部からの要求に基づき、必要な非接触化工事を実施するものと考えて

いる。

委員 学校施設は対象か。

答 不特定多数の方が利用する施設を最優先としたため、今回は対象としていない。

委員 工事発注の方法は。

答 施設ごとの配線設備や置かれている状況がさまざまなことから、各所属で発注する予定である。

文教経済常任委員会

条例 上尾市立平方幼稚園の廃止

〈又モ〉 3月定例会で継続審査となった条例を引き続き審査。

委員 地元説明会で市長が出席していない理由を問われた際の回答は。

答 市長には今回の説明会に関しても報告、相談の上で開催しているが、市長からは丁寧の説明するように指示されていると回答した。

委員 地元に対して再度説明会を行う予定はあるのか。

答 現時点ではない。

委員 通園している園児1名は、どのように過ごしているのか。

答 園児1名だと社会性などを学ぶ機会が失われることが想定され

るので、近隣の保育園との交流活動を行っている。

【継続審査の動議は否決】

委員から、地元への説明会が1度しか行われていないこと、畠山市長が直接足を運び、市の方針を伝えるべきであるとの理由から継続審査の動議が提出されたが否決となった。

都市整備消防常任委員会

契約締結 消防ポンプ自動車2台の取得

〈又モ〉 消防団に更新配備する消防ポンプ自動車および西消防署に更新配備する災害対応特殊消防ポンプ自動車を取得するもの。

委員 今年度予算において、他に車両を取得する予定と旧車両の処分方法は。

答 消防本部に配備する調査車1台の予算も含まれる。消防団車両の処分方法は調整中だが、西消防署の消防ポンプ自動車は、公益財団法人日本消防協会より寄贈の依頼がある。

委員 消防団に更新配備する消防ポンプ自動車の運転免許の区分は。

答 準中型の免許が必要となる。

討論

上尾市立学校設置条例の一部を改正する条例の制定について

反対▼共産党 地元住民に対する初めての説明会では、地元の合意が得られている状況ではなかった。保護者有志からは、何回も要望が出されているが、それに対して十分な答弁はなかった。公共施設の在り方が大きく問われており、今回の閉園ありきの市の進め方にも多々問題がある。

反対▼彩の会 継続審査となつて以降の執行部の対応から判断すると、現時点で賛成できるとはいえない。これまでの閉園に向けての手続きでは、今後の各種公共施設の整理や市政運営が立ち行かなくなる。議会の議決を経ていないのに廃園を決定事項のように説明したとの声もある。議会軽視であり、二元代表制の定義も揺るがしかねない。

賛成▼無会派(津田) 立法事実と条例評価の6つの基準である必要性、有効性、効率性、公平性、協働性、適法性を考えても、執行部の判断が合理的である。私立幼稚園の様子を見ても、障害のある子どもに対する姿勢、教育が不足しているとも

考えられない。私立幼稚園が充実している今、無理に残す必要はないのではないかと。

反対▼無会派(秋山) 平方幼稚園は唯一の公立幼稚園である。大規模災害時や国民保護条例で避難について議論されており、その受け入れ態勢を担うのは公立施設である。性急にこれをなくしてしまうことを、私たちの代で判断してしまつて良いのか。

令和3年度上尾市一般会計補正予算(第3号)

反対▼無会派(佐藤) 妊婦応援タクシー利用料金助成事業について、令和2年6月定例会でも同じ事業が補正予算として上程されたが、使用率が低かつたため、別の形で妊婦に支援した方が良いと考える。車に乗れる妊婦や家族の送迎がある妊婦は使う機会がない。

賛成▼無会派(津田) 妊婦応援タクシー利用料金助成事業は、配布したうちの4割しか使われていないが、4割は必要とされているため、全てを否定する訳にはいかない。

デジタルサイネージを設置し、視覚効果で市民にコロナ対策情報を届けることは、広報戦略の「伝わる」方針に沿った事業である。
反対▼無会派(秋山) 昨年、高齢

者のフレイル対策や熱中症対策を要望したが、6月議会でも予算化されなかった。今の上尾市を見ると団塊の世代が後期高齢者となる2025年問題に対する対策が全く考慮されないことについて憂慮している。今までもずっと積み上げてきた2025年問題に対する対策を放棄するのか。市の将来を考えると賛成できない。

工事請負契約の締結について(議案第64・65・66号)

反対▼無会派(秋山) この予算が出た時に資料提出を求めたが、入札に差し障りがあるので具体的な金額は出せないとのことだった。入札が終わって、現場管理費や諸経費などの詳細な資料を求めたが、工事が終わらなければ出せないと断られた。議員としての役割が果たせないと考えることから反対する。

第6次エネルギー基本計画策定に向けて国に意見書の提出を求める請願

賛成▼共産党 気温の上昇を産業革命から1.5度以内に抑えなければ食料生産、人間の存在そのものが大きな打撃を受ける。異常気象を生み出す温室効果ガスを抑えるため、再生可能エネルギーへの転換、拡大が必要である。再生可能エネル

ギー電力の割合を高め、原子力発電をやめてほしいとの意思は多くの市民の願いである。

賛成▼無会派(秋山) 異常気象は食料生産に影響する。よって、エネルギー政策は非常に大事である。異常気象とエネルギー自給の問題は国の争いがあるほど大切になってくる。原子力発電は経済効率より安全性が考慮されることは常識だと考える。請願に原発をなくせとは書いていない。最大公約数の賛成が得られると判断している。

令和3年度上尾市一般会計補正予算(第4号)

賛成▼政策・市民の声 新型コロナウイルスウィルス感染症生活困窮者自立支援金は、生活に不安を抱える市民に対し、直接的な支援を行うものとして賛同する。

声の議会だより

視覚に障害のある人に、『あげお議会だより』の内容をCD(デージー方式)に録音した「声の議会だより」を無料で貸し出しています。市内在住で希望する人は、議会事務局までご連絡ください。

⇒議会事務局
(☎775-9467)

人事案件に同意

■ 監査委員に代田龍乗氏

監査委員・矢部勝巳氏の任期が令和3年6月30日で満了となるため、後任として代田龍乗氏を選任することについて同意を求められ、全会一致で同意しました。

■ 固定資産評価員に坂井良昭

固定資産評価員・加藤俊市から令和3年6月30日限りで辞職する旨の申し出を受けたため、後任として坂井良昭を選任することについて同意を求められ、全会一致で同意しました。

■ 固定資産評価審査委員会委員に伊澤愛子氏

固定資産評価審査委員会委員・伊澤愛子氏の任期が令和3年7月6日で満了となるため、同氏を再び選任することについて同意を求められ、全会一致で同意しました。

■ 人権擁護委員に小川久雄氏・村田真司氏

人権擁護委員・小川久雄氏および村田真司氏の任期が令和3年9月30日で満了となるため、両氏を再び人権擁護委員の候補者として推薦することについて意見を求められ、全会一致で異議なき旨答申しました。

(議案第32号)

継続審査を求める動議は否決

6月28日の本会議において、公明党および政策・市民の声の所属議員から「上尾市立学校設置条例の一部を改正する条例の制定について」は、地域住民への説明が十分でないこと、平方幼稚園のこれまでの成果を調査検証し、市の幼児教育の展望を協議することとしている幼児教育推進協議会の動向も併せて注視し、引き続き慎重に審査をする必要があることを理由に、委員会に再付託の上、閉会中の継続審査とすることを求める動議が提出されましたが、採決の結果、賛成少数で否決されました。

全員協議会

6月24日「上尾市学校施設更新計画基本計画」について、全員協議会を開催しました。

これは、執行部に計画の説明を求めるため、議会からの要望により、開催されたものです。

会議では、執行部から資料に基づく説明を受けた後、議員から「今までの検討過程」、「ふるさと財団への申し込みの経緯」、「今後の検討スケジュール」などに関する質疑応答・意見などが交わられました。



▲全員協議会での審議

『上尾市学校施設更新計画基本計画調査特別委員会』

なお、6月28日の本会議において、「上尾市学校施設更新計画基本計画調査特別委員会」が設置されました。特別委員会では、本計画に関することについて、調査、検討を進めます。

委員の定数 29人（議長を除く全議員）

委員長 鈴木 茂

副委員長 田中一崇、小川明仁、戸野部直乃、平田通子

調査期限 調査終了まで

令和3年第2回臨時会および令和3年6月定例会提出議案・請願とその結果

※詳しくは市議会ホームページの「議案」をご覧ください。



●第2回臨時会

◎市長提出議案(3件) ※3件とも、全会一致で可決されました。

- 議案第55号 令和3年度上尾市一般会計補正予算(第1号)
- 議案第56号 訴えの提起について
- 議案第57号 専決処分の承認を求めることについて【上尾市税条例の一部改正】

●6月定例会

◎市長提出議案(18件)

- 議案第58号 令和3年度上尾市一般会計補正予算(第3号)
- 議案第59号 令和3年度上尾市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)
- 議案第60号 令和3年度上尾市水道事業会計補正予算(第1号)
- 議案第61号 押印等を求める行政手続の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例の制定について
- 議案第62号 上尾市立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第63号 上尾市が管理する市道の構造等の基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第64号 工事請負契約の締結について【(仮)子ども・子育て支援複合施設建設工事(建築工事)】
- 議案第65号 工事請負契約の締結について【(仮)子ども・子育て支援複合施設建設工事(電気設備工事)】
- 議案第66号 工事請負契約の締結について【(仮)子ども・子育て支援複合施設建設工事(機械設備工事)】
- 議案第67号 財産の取得について【消防ポンプ自動車】
- 議案第68号 財産の取得について【災害対応特殊消防ポンプ自動車】
- 議案第69号 専決処分の承認を求めることについて【令和3年度上尾市一般会計補正予算(第2号)】
- 議案第70号 監査委員の選任について【代田龍乗氏】
- 議案第71号 固定資産評価員の選任について【坂井良昭】
- 議案第72号 固定資産評価審査委員会委員の選任について【伊澤愛子氏】
- 議案第73号 令和3年度上尾市一般会計補正予算(第4号)
- 諮問第1号 人権擁護委員の候補者の推薦につき議会の意見を求めることについて【小川久雄氏】
- 諮問第2号 人権擁護委員の候補者の推薦につき議会の意見を求めることについて【村田真司氏】

◎議員提出議案(6件)

- 議案第5号 沖縄戦の戦没者の遺骨等を含む土砂を埋め立て等に使用しないよう求める意見書
- 議案第6号 中国政府に対して自由、基本的人権の尊重及び法の支配が保障されるよう働きかけることを求める意見書
- 議案第7号 LGB T(性的少数者)に関する差別解消を目的とした法整備を求める意見書
- 議案第8号 教員免許更新制の廃止を求める意見書
- 議案第9号 「東京五輪」開催の中止を求める意見書
- 議案第10号 学校教育におけるデジタルトランスフォーメーションを適切に進めるための意見書

◎請願(1件)

- 請願第9号 第6次エネルギー基本計画策定に向けて国に意見書の提出を求める請願

◎閉会中の継続審査の議案及び請願(2件)

- 議案第32号 上尾市立学校設置条例の一部を改正する条例の制定について
- 請願第8号 上尾市コミュニティセンター改修後の、新「多目的室1」(旧子供室)の貸し出しに関する請願(注)

(注) 請願者からの申し出により、取下げとなりました。

◎本議会において賛否が分かれた議案・請願

6月定例会

※ 一覧に掲載されていない議案は、全会一致で可決。
 ※ ○=賛成 ×=反対 ■=退席 ※議長は採決に加わりません。

| 議案(請願)番号 | 議決結果 | 政策・市民の声 | | | | | 上尾同志会 | | | | | 共産党 | | | 公明党 | | | 彩の会 | | 無党派 | | | | | | | | | | |
|---------------------|------------|---------|-------|-------|--------|------|-------|------|------|-------|-------|-------|-------|------|-------|------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|------|-------|-------|-------|------|-------|--------|
| | | 樋口 敦 | 荒川 昌佑 | 矢口 豊人 | 海老原 直矢 | 鈴木 茂 | 浦和 三郎 | 井上 茂 | 田島 純 | 原田 嘉明 | 尾花 瑛仁 | 新道 龍一 | 田中 一崇 | 深山 孝 | 渡辺 綱一 | 轟 信一 | 新藤 孝子 | 戸口 佐一 | 池田 達生 | 平田 通子 | 井上 智則 | 戸野 部直乃 | 前島 るり | 長沢 純 | 道下 文男 | 小川 明仁 | 星野 良行 | 大室 尚 | 津田 賢伯 | 佐藤 恵理子 |
| 議案第32号 (継続審査の動議) | 原案否決 否決 | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ | × | × | ○ | × | × |
| 議案第58号 | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第64号 | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第65号 | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第66号 | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 請願第9号 | 不採択 | × | ○ | × | × | × | ○ | × | × | × | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | |
| 議案第6号議案 | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第8号議案 | 原案否決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | × | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | × | × | × | × | × | × | ○ | ○ | |
| 議案第9号議案 | 原案否決 | × | × | × | × | × | ○ | × | × | × | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | ○ | |
| 議案第10号議案 | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |

一般質問

? **ここが問題**
そこが聞きたい!

6月定例会の一般質問は、6月17・18・21・22・23日の5日間行われ、24人の議員が市政全般83項目にわたって市当局の見解を求めました。各議員の一般質問の中から一部を掲載しました。詳細は市議会のホームページをご覧ください(8月下旬公開)。

なお、本定例会では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、傍聴については自粛をお願いし実施いたしました。

新型コロナウイルスワクチン接種の進捗と今後の方針は



矢口豊人
(政策・市民の声)

問 副反応などの発生状況はいかがか。

答 予防接種後、副反応の疑い事例が6件、集団接種会場での救護対応の件数が8件あったが、いずれも当日又は翌日に回復している。

問 接種に対する不安を持つ方は増えている。特に職場や学校などでは、不当な差別が発生することも懸念される。職場や学校での接種方針は。

答 職域接種は国が進めているので把握していない。学校での集団接種は、個人情報への配慮の観点などから実施は考えていない。

問 学校での集団接種は実施しないとのことである。改めて、安心して。改めて、

個々人の任意接種であることを認識し、接種を受けられない方や受けたくない方、いずれも不利益が生じないように対策を講じることをお願いする。また、若い世代はかかりつけ医がないという方が多い。働く世代は、土日の接種が中心になると思われるため、何らかの体制を強化してほしい。そうした今後の方針変更、最新の情報は何をいつ見ればよいか。

答 高齢者以外の接種に際し、医師会や医療機関と調整し、接種を受けやすい体制を構築していく。最新の情報については、市ホームページで随時更新する。

その他の質問

- ・ スポーツ科学拠点施設
- ・ 地域公共交通と契約

家族の介護などで大きな負担を担う子どもたちに支援を



前島るり
(公明党 上尾市議団)

問 病気の家族の介護や世話を担う18歳未満の子ども「ヤングケアラー」が中高生で、およそ20人に1人いることが厚生労働省の調査で明らかになった。そこで、学校現場では、児童生徒の家庭の状況をどのように把握しているのか伺う。

答 学校では、担任などが児童生徒の出席状況や健康状態を日常的に注視して見守り、心身の状態を把握している。また、家庭訪問や家族との個別面談の他、児童生徒からも話を丁寧に聞いている。

問 家族の介護やケアに時間を取られ、子どもらしい生活を送ることができず、ついには、

不登校などに追い込まれる子どもたちを救うために、教育現場と福祉との連携による支援が必要と考えるが、そのような体制があるのか伺う。

答 ヤングケアラーは、早期に把握し、支援につなげることが重要だと認識している。要保護児童対策地域協議会において、ヤングケアラーに関する認識を共有し、個別事案ごとに迅速かつ効果的な支援につなげていく。

その他の質問

- ・ 国の特別交付税による奨学金返済補助
- ・ 大型商業施設の空き床の活用で中心市街地のにぎわい創出と、鉄道輸送の強化
- ・ 寄付によるベンチや公園遊具などの設置と、障がいのある子どもない子ども共に遊べる公園づくり

ゼロカーボン社会の実現へ



星野 良行
(彩の会)

問 脱炭素社会の実現に向けた具体的な目標と施策はあるか。

答 第3次上尾市環境基本計画では、2030年度における温室効果ガスについて、2013年度比26%減、93万3000トンへ削減することを目標としている。具体的には、家庭を対象とした施策として、省エネ性能が高い設備や再生可能エネルギーなどの導入促進、電気自動車など環境に配慮した移動手段への転換促進などがある。事業者に対しては、再生可能エネルギーなどの導入や機器のエネルギー利用効率化を促進するための情報提供を行うことなどを位置

付けている。

なお、温室効果ガスについては、国の新たな削減目標が変更されたため、市の削減目標や施策についても、今後見直しを検討していく。

問 本市はゼロカーボンシティ宣言を表明するとのことだが、現在の状況は。

答 7月17日(土)に開催する「上尾市環境推進大会2021」において、市長が脱炭素社会に向けて2050年、二酸化炭素を実質排出量ゼロに取り組むゼロカーボンシティ宣言を表明する予定である。

その他の質問

- ・ 学校施設更新計画
- ・ 屋内50メートルプール・スポーツ科学拠点の誘致
- ・ 第二産業道路の整備状況

市の広報媒体を上手く機能させて



深山 孝
(上尾同志会)

問 市の施策を市民に伝える情報手段が上手く機能していないと考える。「広報あげお」、「ホームページ」、「メールマガジン」などについて、それぞれの特徴と活用実態および登録者数は。

答 「広報あげお」については、最も基本的な市の情報発信媒体であり、月に1回、市内全戸に配布されるという点で市民にも広く浸透している。「ホームページ」については、市政に関する幅広い情報を掲載し、広報誌と比較し、速やかに情報が更新できるといった特徴がある。「メールマガジン」

については、利用者が欲しい情報を自動的に入手できるプッシュ型情報発信という特徴を持ち、安心・安全メール、防災無線情報、火災情報などを配信している。昨年度は、合計で412件配信し、今年5月末の登録者数は延べ1万7086人となっている。メールマガジンは配信頻度が高いと、ブロックされることも多いため、緊急に周知すべき情報を除き、発信する情報を選定し、週に1〜2回程度の配信としたり、配信時間を工夫し、運用している。

その他の質問

- ・ 財政課題
- ・ 危機管理体制



学習者用端末の活用状況は



田中一崇
(上尾同志会)

問 学校で使用する学習者用端末は、どのような使い方がか。

答 各学校では、学習者用端末を活用することにより、全ての子どもたちの可能性を引き出す「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現を目指している。

具体的には、児童生徒の主体的なデジタル教材の活用やインターネットを活用した探究的な学習、授業の中で児童生徒一人一人の考えをリアルタイムで共有する学習などがある。

また、オーストラリアのロッキヤー高校とのオンライン交流や京都の和菓子店とつながり、和菓子を作る体験学習をするなど、時間

的、空間的制約を超える学習などがさまざまな行われている。

問 登校できない児童生徒に対する学習者用端末を利用した学習はどのようなものが考えられるか。また、今後オンライン学習を実施するための準備は。

答 登校できない児童生徒に対しては、児童生徒の発達段階や欠席状況に合わせ、オンラインドリルの活用や授業のオンライン配信などが考えられる。

今後、小学校3年生以上の児童生徒が学習者用端末を家庭へ持ち帰り、各家庭の通信環境における接続確認の調査を実施する予定である。

その他の質問

- ・ 新型コロナ関係
- ・ 子育てをするなら上尾に向けて

職員の昇任に客観性を持たせるための制度の検討を



尾花 英仁
(上尾同志会)

問 本市は昇任時の試験が無く、採用時の試験科目には地方自治法、地方公務員法などが無い。これらの科目を対象とした昇任試験を導入すれば、不祥事防止や政策立案の基礎となる知識の底上げにつながるが、「情実」的な人事の可能性も排除できる。人事評価と試験を併せた総合的な昇任判定方法の検討は。

答 知識を高めるために階層別の研修をさらに充実し、昇任選考は意欲と能力を備えた職員を客観的に評価する人事評価制度で行う。

問 人事は単純な内部管理ではない。その自治体が市民目線という言葉を使っているが、

その他の質問

- 自治体SDGs
- 契約業務と内部統制
- 50mプール・スポーツ科学拠点施設の誘致をはじめ人づくり
- 教育環境

いざとなると組織の都合を優先していないかを測る指標にもなる。県内40市のうち32市が昇任試験を導入している。昨年度の本市職員アンケートでは、現在の人事評価の有効性について「とても有効」「多少有効」の回答合計は25・2%という状況で、「人によって評価が違う」といったコメントもあった。確認だが、市としては昇任試験は導入しない考えか。

答 現時点で予定はないが、意欲と能力を備えた職員を客観的に評価する人事評価制度で昇任選考を行う。

コロナ禍における孤立する女性を支える取り組みを



戸野部 直乃
(公明党
上尾市議員)

問 コロナ禍において女性を取り巻く状況は厳しいものとなっている。市内在住の女性からのDV相談件数が昨年度より21%増加しているが、その要因についてどう分析するか。

答 コロナ禍で長期化する外出自粛や在宅勤務などで、自宅滞在時間の増加などにより家庭内で不和が生じ、身体的、精神的、経済的DVに発展したのと思われる。

問 テレワークの活用が広がる中、女性への家事や育児負担が増大したとの調査報告がある。家事、育児は男女が協力して行っていくものとの認識をより一層定着させるための啓

その他の質問

- 災害弱者避難支援
- ごみ集積所の設置に係る課題解決に向けて
- SNS相談の導入

発を求めるが見解は。

答 第3次上尾市男女共同参画計画「デュエツトプラン21」で、男女が共同して分担する割合を30%（現在20・6%）にすることを目標としている。引き続き啓発に努めていく。

問 経済的な理由などで生理用品の購入に苦勞している女性が5人に1人いると言われている。今後、市内小・中学校のトイレに生理用品の設置を求めるが市の見解は。

答 保健室に常備しているが、児童生徒が安心して学校生活を送ることができるよう学校に働きかけていく。

ユニバーサルデザインフォントの積極的な活用を



井上 智則
(公明党
上尾市議員)

問 ユニバーサルデザインフォント（UDフォント）は、多くの人に読みやすいように工夫された書体で、高速度道路の標識などにも使われている。他市の教育現場では、一般的な書体に比べ、問題を解く回答スピードや正答率が上がったとの実験結果もある。本市の教育現場では、どのような場面で活用しているか。

答 多くの教科書で採用されている。

問 学校における今後の活用は。

答 UDフォントに限らず、全ての児童生徒にとって分かりやすいユニバーサルデザインの視点を取り入れた教

その他の質問

- 子どもの安心・安全
- 学校生活
- 人材育成

育環境を整えていくことは、重要なことと考えている。

問 市民に配布する印刷物についてはどうか。

答 毎月全戸配布している「広報あげお」については、誰もが見やすく、視認性の高いUDフォントを使用している。

問 市では多くの印刷物を配布しているが、広報広聴課以外の部局での活用はどうか。

答 現時点では、全ての印刷物にUDフォントが使用されている状況ではない。今後、UDフォントをはじめとする視認性の高いフォントを使用していくよう全庁に促していく。

相談事業は開庁時間外も受付を



海老原直矢
(政策・市民の声)

問 ひとり親世帯のうち、仕事で午後6時以降に帰宅する割合は約半数であり、本市においても900世帯以上が開庁時に相談事業を利用することが困難であると考えられる。ひとり親のワンストップ相談について、開庁時間外に相談を受け付ける必要があると考えるが見解は。

答 夜間や休日のひとり親相談を含めた子育て相談は、子ども家庭総合支援センターの問い合わせメールで受け付け、翌開庁日に電話またはメールで相談に対応している。

問 対応についてホームページにもその旨記載すべきである。

また、市民相談室で行っている弁護士相談なども開庁時間外に受け付けできるようにすべきと考えるが見解は。

答 現在のところ、夜間や休日の対応予定はない。今後は、県内他市の動向などを注視していきたい。

問 その他の相談事業について、問い合わせだけでも、時間外に受け付けられることが分かるよう周知を図るべきと考えるが見解は。

答 各相談窓口所管課のホームページや広報誌の相談窓口紹介コーナーにおいて、メールアドレスも可能な限り記載するよう関係各課と調整していく。

その他の質問

- 不登校・ひきこもり
- 災害時における要配慮者支援
- 自然環境保護

高齢者の移動手段の確保と介護教育の推進を



鈴木 茂
(政策・市民の声)

問 高齢者の移動手段を確保するため、民間のタクシー会社と契約し、デマンド交通を実施するという施策も考えられるが、市の見解は。

答 デマンド交通は、今後の財政状況や民間公共交通事業者との共存などを考慮すると、導入については慎重に調査研究を重ねる必要があるものと考ええる。今後、社会福祉法人や関係機関から協力を得ながら、高齢者が活用できる移動支援の充実に向けた仕組みづくりを推進していきたい。

問 市が相当な支援を行わない限り、社会福祉法人が移動支援を行うことは難しいという

ことを指摘しておく。介護人材の確保という観点では、長期的な視野に立った場合、学生時代から介護の重要性を教育の場で取り上げていくことが重要と考えるが、市長の考えは。

答 若い世代の人に介護の重要性を学んでもらうことは、とても大切である。市では、小中学校からの要請を受け、認知症サポーター養成講座を開催しており、高齢者介護の重要性を学ぶ機会を提供している。また、県の社会福祉協議会が中高生の進路の参考として、福祉の仕事ガイドブックを配布している他、教職員になるためには介護体験が義務付けられていることから、児童生徒に対して福祉教育を行う土壌が整ってきていると考える。

地域防犯ボランティアの登録者数を増やすために



樋口 敦
(政策・市民の声)

問 本市の防犯ボランティアの団体数と登録人数について伺う。

答 市内のボランティア団体数は、昨年7月の調査時点で102団体の登録があり、登録者数は約2600人となっている。

問 団体数と登録人数の推移はどうなっているか。

答 平成23年の109団体、約3000人の登録者数をピークに、年々減少傾向となっている。

問 防犯ボランティア団体の課題について把握しているか。

答 アンケート調査では、多くの団体からコロナ禍の影響もあり、活動に必要な人数が集

まらないとの回答が寄せられている。その他、登録者の高齢化が課題として挙げられる。

問 年々減少傾向にある防犯ボランティア団体の登録者数を増やすために、どのような取り組みをしているか。

答 ホームページに防犯ボランティアに関する情報を掲載し、広く参加への呼びかけを行っている。

問 高齢化による減少といった課題を解決するために、県の防犯サポーターを増やすことが重要になると考えるが、周知方法は。

答 県と連携を図りながら、ホームページなどで制度の周知を図っていききたいと考えている。

その他の質問

- 学校施設開放
- 市民の健康づくり

学校の統廃合は人口を減少させるのでは



井上 茂 (政策・市民の声)

問 市が政策的に人口を増加させる努力をしている中で、教育委員会は上尾市学校施設更新計画基本計画を策定した。人口減少を加速させる計画だと思いが、本計画の策定で避難所はどう考えたか。

答 本計画の策定委員会において、市から学校施設は指定避難所であり、配慮願いたい旨の意見を述べた。

問 本計画は、学校の統廃合を目的としており、人口減少に加え、コミュニティも破壊してしまう。学区を単位にした地域の力がなくなってしまうことが全国の例で実証されているが、これをどのように考えているか。

答 地域コミュニティに関係する調整はないが、個別施設管理基本計画等評価委員会および同幹事会において、情報共有している。

問 本計画に示されているものは、市長の考えと理解してよいか。

答 市長が委員長を務める個別施設管理基本計画等評価委員会における議論、審査を経て、教育委員会が策定した計画である。したがって、市長および教育委員会の考え方を形にしたものである。地域の現状に目を向け、地域の皆さまの意見をしっかりと伺いながら、学校施設の更新を計画的に実行し、誰もが住み続けたい、住んでみたいと思えるまちづくりを推進する。

その他の質問
・ 消防行政の広域化

第3次上尾市環境基本計画の取り組みは



道下文男 (公明党 上尾市議団)

問 計画の概要と今後の目指すべき方向性をどのように考えているか。

答 計画では、4つの望ましい環境像の一つである「持続可能なまちあげおを次世代へとつないでいる」ことの実現に向け、低炭素社会の構築を環境目標としている。具体的な施策として、家庭やオフィスなどにおける徹底した省エネルギー対策や再生可能エネルギーの導入に向けた取り組みの推進、気候変動適応への取り組みの推進などを掲げている。

問 市がゼロカーボンシティ宣言を行う経緯と宣言後の市の取り組みについて伺う。

答 6月14日時点で408の自治体がゼロカーボンシティを表明しており、本市でも意思表明することが大変重要であると考えた。宣言後は、国の温室効果ガスの削減目標が変更されたことから、今後示される取組事例を参考に市の目標や施策の見直しを検討する。

問 2050年にカーボンニュートラルを目指す市長の決意は。

答 温室効果ガスの削減は、地球規模の大きな問題である。本市も国際社会の一員として、持続可能な未来への責任を果たす。

その他の質問
・ 新型コロナウイルス感染症対策・ワクチン接種
・ 第8期上尾市高齢者福祉計画・介護保険事業計画

あげお花火大会の再開を



浦和 三郎 (政策・市民の声)

問 あげお花火大会が2年連続中止となっているが、その理由と再開の考えは。

答 東京オリンピック・パラリンピックおよび新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴い中止とした。また、荒川河川敷の堤防工事が予定されているため、実行委員会で当面の間の休止を決定した。

問 あげお花火大会の来場者数と、開催による経済効果はどの程度を見込んでいるか。

答 例年16万人程度の来場者がある。経済効果は算出していないが、開催経費と来場者の交通費や飲食費など、大きな経済効果があると考える。

問 経済活動の活性化を援護するための代替イベントの考えは。

答 地元・平方地区の活性化の支援につながるよう、関係者の意見や実現性などを踏まえ検討する。

問 丸山公園の駐車場を活用してキッチンカーを集めたフェスティバルを開催してどうか。民間業者との連携によるイベントが有効と思う。あげお花火大会の再開について、市長の考えを伺う。

答 現在は中止を余儀なくされているが、堤防で花火大会などのイベントが安全に運営できるよう、国に要望するとともに、花火大会の再開に向け、尽力していく。

その他の質問
・ 環境美化活動
・ 資源再利用

市民に負担のかからない 選挙の実現に向けて



津田賢伯
(無会派)

問 市で執行される選挙とその費用は。

答 衆議院議員総選挙、参議院議員通常選挙がそれぞれ約5000万円、埼玉県知事選挙、埼玉県議会議員一般選挙、上尾市長選挙がそれぞれ約4000万円、上尾市議会議員一般選挙が約8000万円の費用がかかる。

問 市議会議員選挙の選挙ポスター掲示場設置にかかる委託費用について、県議会議員選挙と比較してどうなっているか。

答 平成31年4月の埼玉県議会議員一般選挙は、定数3に対し候補者が4名、掲示区画数は8区画で約459万円である。令和元年12

月の上尾市議会議員一般選挙は、定数30に対し候補者が41名、掲示区画数は48区画で、約1844万円である。両選挙とも、市内289か所に設置した。

問 市の財源で実施される上尾市長選挙と上尾市議会議員一般選挙は、合計1億2000万円の費用がかかる。仮にこれらの選挙が同時選挙となった場合、圧縮、節減できる費用は。

答 報酬や職員手当を含めた人件費、入場券作成費、投票所設置に係る費用などの委託費や入場券郵送料の通信運搬費などが主な節減の対象で、2000万円から2500万円程度、約2500万円程度の節減が想定される。

その他の質問
・第2期上尾市地域創生総合戦略

投票しやすい環境整備を



戸口佐一
(日本共産党
上尾市議員)

鴻巣市、伊奈町ではパソコンでの受け付け整理を実施していることが分かった。

問 市民から「今まで車で投票に行っていた。車を手放したら投票所まで行くことができなくなった。この地域の投票所は、東小学校で自宅から2・6キロメートルあり、学校区は東町小学校で自宅から1キロメートルである。近いところで投票できないか。」との要望があった。投票しやすい環境整備について伺う。県内40市の中で投票受付時にパソコンを使ったシステムを導入していない自治体の数は。

答 6月時点で本市を含めて9市が導入していない。

問 近隣4市1町を調べたところ、北本市、

その他の質問
・災害に強い街づくり



新藤孝子
(日本共産党
上尾市議員)

ヤングケアラーの支援を

問 学校内外の支援体制は。

答 個別面談などによる対話の他、養護教諭、スクールカウンセラー、さわやか相談室相談員などと連携し、相談しやすい環境を整備している。校外では、スクールソーシャルワーカーによる訪問支援や子ども家庭総合支援センター、児童相談所などと連携した支援を行っている。

問 若い兄弟の世話や病気、障害のある家族の介護をしている18歳未満の子どもたちのことをヤングケアラーという。こうした子どもたちは、家族の世話をすることは当然であると考え、負担の重さを自覚できずに、SOSを出しにくいことが明らかになっている。ヤングケアラーに対する理解や認識を進めるため、市はどのような取り組みをしているか。

答 埼玉県ケアラー支援条例の趣旨を各学校に周知し、支援について配慮することを通知している。また、中学校1校でヤングケアラーに関する講演会が実施される予定である。

その他の質問
・第8期上尾市高齢者福祉計画・介護保険事業計画

領家地区の整備・開発には
周辺環境への配慮を



原田嘉明
(上尾同志会)

問 現在の開発、整備の予定と状況は。

答 領家工業団地内のアマダヤマゴルフジョイ跡地の約1万8400平方メートルの敷地に、4階建ての物流倉庫を建設している。令和3年5月27日付で開発許可を受けた後、6月2日から工事に着手しており、竣工予定は令和4年10月末と伺っている。

問 開発行為に伴う周辺環境への影響と配慮、指導と対応は。

答 開発許可申請の前に、関係部署との事前協議や上尾市開発行為に関する審査委員会の事前審査を行い、道路、下水道などの公共施設に関する指示の他、近

隣住民とのトラブルが生じないように誠意をもって努めること、工事中は騒音、振動など、周辺住民に迷惑を及ぼさないよう十分な対策を行うことを指導している。また、関係車両が小学校の通学路を通行するため、今後関係機関と連携し、登下校時の児童の安全確保などを検討する。

その他の質問

- ・ 荒川築堤の状況と災害対策
- ・ 交通防災、安全対策
- ・ 入札、契約条件の変化と対応
- ・ 公共施設の管理、契約等
- ・ パークゴルフ
- ・ 西貝塚環境センターでの火災の経験と踏まえた今後の対応
- ・ 広報・情宣の現状
- ・ ペットの野生化、繁殖防止と殺処分

平方地区の
学校統廃合について



轟 信一
(日本共産党
上尾市議団)

問 学校統廃合計画に対し、地域住民からどのような声が届いているか。

答 通学距離が長くなることに対する児童生徒の負担や安心安全の確保への不安、学校が担っている避難場所としての役割への影響など、多くの意見が寄せられた。

問 平方地区自治会連合会の意見はどうか。

答 「平方東小学校までは通学距離が遠くなるため、平方小学校と太平洋中学校を残してほしい。平方地区に災害があったとき、地域の方が避難できない状況に陥らないよう検討してほしい。」との意見があった。

問 このような意見をどう受け止めているか。

答 児童生徒の教育環境や安心安全を第一に考え、避難所やコミュニティの機能などさまざまな視点から、地域の方と協議、意見交換をして、魅力ある新しい学校づくりを検討する。

問 通学距離が2キロメートルを超える地域もあるが、子どもの安全面はどうか。

答 児童生徒の安全確保や負担軽減策の検討が必要と考えている。

問 平方地区の小中学校を小中一貫一校にする計画の経緯は。

答 対象校の敷地が隣接していることから、小中一貫一校として再編案を示した。

その他の質問

- ・ 公共施設におけるネット環境の充実を

学校統廃合計画は人口増加
政策と相反していないか



池田達生
(日本共産党
上尾市議団)

問 学校施設更新計画基本計画は、全国の小中学校統廃合のモデルケースとして約2年前から計画づくりが進んでいた。市民がそれを知ったのは、今年1月、実質20日間の市民コメントであった。なぜ2年間も市民に知らせなかったのか。

答 計画の策定に当たっては、平成29年度から庁内横断の組織を立ち上げ、また市民へのアンケート調査、学校施設ミーティング、懇話会の開催など幅広く意見を伺ってきた。令和元年12月に基本方針を策定し、今年1月に基本計画案がまとまったため、市民コメントで意見を伺った。

問 小学校や公共施設などが近くにあるかどうかは移住の大切な判断基準である。今回の統廃合計画で、小中学校が廃校になる地域も出てくる。市長は、地域創生総合戦略で、人口を増やし、住んでみたいと思うまちづくりと述べているが、相反するのではないか。

答 今回の計画は、老朽化した学校施設を新たな教育や学習に対応できる環境整備を図り、新しく魅力ある学校施設に更新することが目的である。地域の皆さんの意見を伺いながら、学校施設の更新を計画的に行う。

その他の質問

- ・ 市民が憩える公園を「ぐるっとくん」の充実、デマンド交通の創出で元気なまちづくりを

歯科口腔保健の推進を



小川明仁
(彩の会)

問 コロナ禍での口腔ケアの停滞による影響を危惧している。歯科口腔保健の取組状況は。

答 令和2年度の幼児の歯科保健指導数は、10か月児健康相談では246人で前年度の約3倍、1歳6か月児健康診査では182人で前年度の約7倍と大幅に増加している。前年度までの集団方式から、感染予防のため個別方式に切り替えたことにより、利用者が増加した。成人歯科健康診査は、緊急事態宣言解除後に開始し、前年度より2割減の692人となった。8020よい歯のコンクール、いい歯のパネル展は令

和2年度は中止したが、令和3年度は開催方法を見直し実施する方向で検討している。

問 歯科医師会などの関係機関との連携状況はどうなっているか。

答 歯科口腔保健推進会議を年2回開催し、北足立歯科医師会と市の関係課により取組状況の報告や今後の検討を行っている。

歯科口腔保健は健康面全般において非常に重要であると認識している。今後も歯科口腔保健推進会議を活用し、北足立歯科医師会と連携を図りながら、健康増進計画に基づく取り組みを推進していく。

その他の質問

- ・ コロナワクチン接種
- ・ 道路整備
- ・ 上水道
- ・ 平方幼稚園

妊婦応援タクシーの利用期限の延長は



荒川昌佑
(政策・市民の声)

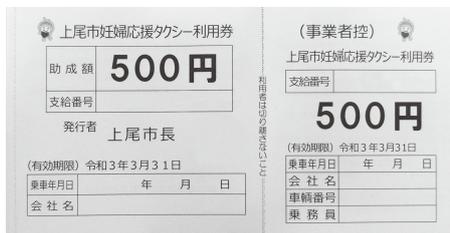
問 妊婦応援タクシー事業について、昨年度は有効期限が3月31日までの券を12月28日まで配布したとのことであつた。年末に頂いた方は、使用期限が短くおながが大きくなる頃には使えなくなるという問題が生じる。私の知人は妊娠4か月目の12月に頂いたので、まだおながも大きくな

く、わざわざタクシーを呼ぶより自家用車で動き、結局使う場面がなかった。

このようなことは当然、想定されたものであると推察するが、なぜタクシー券に有効期限がついているのか。妊婦に絞るといふのであれば、発行から10か

月間などにできたのではないか。

答 令和2年度の妊婦応援タクシー券の利用期限については、新型コロナウイルス対策として妊婦の方に短期集中的に利用いただくことを目的に単年度事業としたことから、令和3年3月31日までとしたものである。



令和2年度の妊婦応援タクシー券

その他の質問

- ・ 市内の公園整備
- ・ 上尾市のまちづくり
- ・ 上平複合施設
- ・ 成人式

高齢者へフレイル対策と熱中症対策を



秋山かほる
(無党派)

問 コロナ禍で中止しているアツピー元気体操は、今どのようなになっているのか。

答 集合型での実施は中止しており、毎週水曜日にテレビ放映を行っている。今後は住民主体によるアツピー元気体操も含めた介護予防体操などの活動に移行していく方針である。屋外、オンライン、または感染防止策を講じた上での屋内での実施とし、市も関わりながら進めていく。

また、6月から7月にかけて、各地域のアツピー元気体操のリーダーを対象に、再開後の活動方法の説明会を市内9か所で実施する。熱中症対策として

クールオアシスなどの実施を求めてきたが、どうなっているか。

答 まちのクールオアシスは、埼玉県ホームページに掲載されており、市内では市役所本庁舎、東・西保健センター、健康プラザわくわくランドの他、民間企業175か所が協力施設となっている。外出時の一時休憩所や熱中症の情報発信拠点であることから、市ホームページでも市民に周知していく。

その他の質問

- ・ コロナ禍に於ける市民生活の変化とその対応
- ・ 市及び関連施設における石ケン洗剤の使用
- ・ ウイズコロナの中で、発展する市政を求める
- ・ 上尾市国民保護計画

学校施設更新計画・統廃合計画の見直しを



平田通子
(日本共産党
上尾市議団)

問 小中一貫一校の導入は、どこの会議で決定したのか。

答 原市と平方に小中一貫一校の再編案を示したが、導入方針は教育委員会として決定していない。令和4年度中に、教育委員会の方向性を決定する。

問 市の教育の在り方として、小中一貫一校や統合で大規模校になる計画の根本的な検証・議論が必要と考えるが見解は。

答 計画の推進に当たっては、地域の意見を伺いながら検証、議論を進める。

問 文部科学省は改築費用が6割で済む長寿命化を推奨している。検討しない理由は。

答 原則、長寿命化を図るが、児童生徒数の推計や学校の配置、校舎の老朽化の状態など、学校規模の適正化の観点から効果的な場合は、再編も考える。

問 学童や防災の問題をどこで議論したか。

答 学校施設更新計画策定委員会および作業部会を定期的に開催し、情報共有してきた。

問 総合的な検討を求めるが市長の考えは。

答 最新の教育環境を必要とする取り組みを進めるためには厳しい財政状況を踏まえると計画的な更新は重要な課題である。児童生徒の教育環境や安全安心を最優先に地域の皆さまとしっかり協議する。

問 最新の教育環境を必要とする取り組みを進めるためには厳しい財政状況を踏まえると計画的な更新は重要な課題である。児童生徒の教育環境や安全安心を最優先に地域の皆さまとしっかり協議する。

その他の質問

- ・ 新型コロナウイルスの速やかな接種を
- ・ 瓦葺地域に公民館を

令和3年第2回臨時会

4月23日、第2回臨時会が開催され、次の議案3件を可決・承認しました。

令和3年度上尾市一般会計補正予算(第1号) / 国庫補助金を活用して児童一人当たり一律5万円を支給する「低所得の子育て世帯生活支援特別給付金」のうち、支給要件が明確化されている低所得の「ひとり親世帯」への支給に要する経費を予算計上するもの。

訴えの提起について / 社会保険料の立替金などの支払の請求

専決処分の承認を求めることについて / わがまち特例の適用期限延長、グリーン化特例の適用期限延長など

※第2回臨時会提出議案とその結果は、6ページをご参照ください。

討論

令和3年度上尾市一般会計補正予算(第1号)

賛成▼公明党

コロナ禍の長期化で影響を受けている低所得の子育て世帯に対する生活支援特別給付金の支給は、公明党が政府に対し、提言してきたものである。コロナ禍の終息には時間がかかる中、困窮する世帯への支援が速やかに行き渡るよう、万全の体制で臨んでほしい。

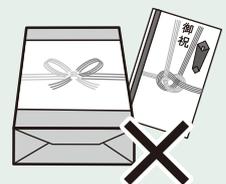
暑中見舞状などの禁止

政治家からのあいさつ状は、公職選挙法によって禁止されています。これは市議会議員が選挙区内(上尾市内)に住んでいる人に対し、答礼のための自筆によるものを除き、暑中見舞状などの時候のあいさつ状を出すことが禁止されているものです。



寄付行為の禁止

政治家の寄付行為は、公職選挙法によって禁止されています。各地区での祭りやスポーツ大会、イベント、集会などでは、議員の各種寄付、差し入れは禁止されているとともに、有権者が寄付を求めることも禁止されています。



9月定例会会期予定表

- 8月30日 開会
- 9月2日 質疑、決算特別委員会の設置、委員会付託
- 3日 委員会 (総務、都市整備消防)
- 6日 委員会 (文教経済、健康福祉)
- 8~10日、13~15日 決算特別委員会
- 9月17、21、22、24、27、28日 一般質問
- 30日 閉会

※開議時間は午前9時30分を予定しています。

委員会活動

R3.4.16~R3.7.15



▲健康福祉常任委員会の審査



▲都市整備消防常任委員会の審査

* 9月定例会は、8月30日(月)に開会予定です。

請願、陳情、要望の提出期限は、8月24日(火)午後5時までとなります。

上尾市議会ではインターネットを利用した議会中継(ライブおよび録画)を行っております。

詳しくは、議会事務局(☎775-9467)へお問い合わせください。

上尾市議会HPアドレス

<http://www.city.ageo.lg.jp/site/shigikai/>



議会報編集委員会

- 委員長 矢口 豊人
- 副委員長 戸口 佐一
- 委員 田島 純
- 委員 轟 信一
- 委員 井上 智則
- 委員 樋口 敦
- 委員 星野 良行
- 委員 戸野部直乃

| 委員会名 | 月・日 | 案 件 |
|------------------------|-----------|--|
| 総務常任委員会 | 4/26 | ・ 所管事務調査「総合防災訓練の報告と今後の展開について」 |
| | 5/17 | ・ 所管事務調査「公共施設マネジメントの上平地区複合施設について」 |
| | 5/28 | ・ 所管事務調査「公共施設マネジメントの上平地区複合施設について」 |
| | 6/14 | ・ 6月定例会提出議案2件を審査 |
| 文教経済常任委員会 | 6/15 | ・ 6月定例会提出議案2件、請願1件を審査(議案第32号 閉会中の継続審査1件) |
| 都市整備消防常任委員会 | 5/12 | ・ 所管事務調査「埼玉県防災学習センター・上尾市防災体験コーナーの視察」 |
| | 6/14 | ・ 6月定例会提出議案5件を審査 |
| 健康福祉常任委員会 | 6/15 | ・ 6月定例会提出議案6件を審査 |
| 議会運営委員会 | 4/16~6/28 | ・ 議会運営について協議(協議回数9回) |
| 上尾市学校施設更新計画基本計画調査特別委員会 | 6/28 | ・ 正副委員長の互選 |
| 議会改革特別委員会 | 5/7 | ・ 協議事項の概要説明について |
| | 7/7 | ・ 各党派からの協議事項に対する意見について |
| 議会報編集委員会 | 4/16 | ・ 「あげお議会だよりNo.198」の内容について協議 |
| | 6/28 | ・ 「あげお議会だよりNo.199」の内容について協議 |

— 意見書4件を原案可決 —

6月定例会最終日の6月28日、議員提出議案として意見書6件を提出し、4件を可決しました。可決した意見書の件名と提出先は次のとおりです。

◆沖縄戦の戦没者の遺骨等を含む土砂を埋め立て等に使用しないよう求める意見書
提出先⇒内閣総理大臣 外務大臣 厚生労働大臣 国土交通大臣 環境大臣 防衛大臣 内閣府特命担当大臣(沖縄及び北方対策) 衆議院議長 参議院議長

◆中国政府に対して自由、基本的人権の尊重及び法の支配が保障されるよう働きかけることを求める意見書
提出先⇒内閣総理大臣 外務大臣 内閣官房長官 衆議院議長 参議院議長

◆LGBT(性的少数者)に関する差別解消を目的とした法整備を求める意見書
提出先⇒内閣総理大臣 総務大臣 法務大臣 文部科学大臣 内閣官房長官 衆議院議長 参議院議長

◆学校教育におけるデジタルトランスフォーメーションを適切に進めるための意見書
提出先⇒内閣総理大臣 総務大臣 財務大臣 文部科学大臣 デジタル改革担当 衆議院議長 参議院議長